

平成30年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

音楽科

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
二年	<p>○身体表現を通して歌うことの楽しさをみんなで十分に味わうことができる。</p> <p>○鍵盤ハーモニカを正しい奏法で演奏しようと意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>○3拍子と2拍子の違いを感じ取ることによって、拍の流れをつかむことができる。</p> <p>○鍵盤ハーモニカの奏法に気を付けながら、演奏する。</p>	<p>○3拍子や2拍子の特徴が顕著に表れている音楽を聴かせることが大切である。</p> <p>それらに合わせて、身体表現やリズム打ちする活動を沢山取り入れる。</p>		
三年	<p>○リコーダーの基本的な奏法に重点を置いた。リコーダーカードを活用して、レパートリー曲基本的な姿勢、指使い、タンギングは知識として理解できた。</p>	<p>○階名唱に慣れ親しむ。</p> <p>○リコーダーの基本的な奏法を身に付け、簡単な曲が吹けるようにする。</p>	<p>○リコーダーカードを活用しながらレパートリーを増やすことで、意欲の持続や自信をもたせることにつなげる。</p>		
四年	<p>○取り組む姿が大変意欲的である。表現力の豊かさにおいて個人差がある。まずは、自分の表現に自信をもたせ、のびのびと感じたままに表現することが豊かな表現につながるというところをたくさん経験させる。</p>	<p>○拍のまとまりを感じ取って、歌ったり楽器で演奏したりすることができるようにする。</p> <p>○曲想を感じ取ってのびのびと歌ったり聴き取ったりする。</p>	<p>○一人一人で歌ったりリズムをたいたたりする場面を多く設け、互いを認め合ったりアドバイスしあったりしながら、豊かな表現力を身に付けていく。</p>		
五年	<p>○ペア学習、グループ学習などが誰とでも、工夫しながら協力してできる。さらに、豊かな表現力について育成していく。</p>	<p>○音の重なりを感じ取りながら二部合唱する。</p> <p>○拍のまとまりを感じ取りながら、行進曲に合わせてリズムよく楽器を演奏する。</p>	<p>○ペア学習、グループ学習で友達同士のかかわりを工夫しながら、みんなで協力して音楽をつくりあげていく。</p>		
六年	<p>○歌唱においては、のびのびと歌える児童が多く、表現の工夫も柔軟性がある。グループ学習やペア学習でも友達とのかかわり方に偏りがでるので、指導者が意図的にバランスのよいかかわり方に配慮していく。</p>	<p>○音の重なりを感じ取りながら二部合唱する。</p> <p>○拍のまとまりを感じ取りながら、行進曲に合わせてリズムよく楽器を演奏する。</p>	<p>○ペア学習、グループ学習で友達同士のかかわりを工夫しながら、みんなで協力して音楽をつくりあげていく。</p>		